

令和6年度 第1回地域ケア推進会議まとめ(1)

「これまでの取り組みの報告等より」

助言・提言	
まちかど運動教室	<ul style="list-style-type: none">・オンラインでも測定できるとよい。・年代や性別の平均値等を出して、目標設定等に利用する。・集めたデータの分析・評価を行う。・通所型サービスCからまちかど運動教室につながった人が、まちかどを中止してしまう要因の確認。
ひまわりカフェ・オレンジメイト	<ul style="list-style-type: none">・オレンジメイトがひまわりカフェで傾聴するなど、認知症地域支援推進員とオレンジメイトが連携してサポートができるとよい。
多職種連携会議事例	<ul style="list-style-type: none">・転入者の実態把握の対象を1年に1回ではなく、転入時などにも民生委員に伝える。・転倒・骨折について、病院から包括を紹介してもらうことにより、より早期に支援に繋がることができる。医療と介護の連携。

令和6年度 第1回地域ケア推進会議まとめ(2)

「多職種連携会議・地域ケア個別会議から把握した課題」

課題	めざす姿	助言・提言
転倒・骨折	<ul style="list-style-type: none">・高齢者自身が転倒・骨折しにくい身体づくり・生活習慣を心がけることができる。・転倒しにくい環境を整えることができる。	<ul style="list-style-type: none">・自宅内の環境整備について70歳代ころから意識してもらう。包括かわら版等で周知する。・ケアマネのスキルアップ、フォーマルサービス以外の支援の紹介(自宅での運動など)・元気なうちからグランドゴルフ等の地域での活動に参加して楽しみ、楽しむことを動機にリハビリをできるようにする。人とのつながりで乗りこえる。・栄養・歯の健康についても併せて周知する。かわら版の周知、サロンで学ぶ機会を作る。・危険な道路等の環境整備を行う。

令和6年度 第1回地域ケア推進会議まとめ(3)

「多職種連携会議・地域ケア個別会議から把握した課題」

課題	めざす姿	助言・提言
地域でのつながりづくり	<ul style="list-style-type: none">・地域の人との顔が見える関係づくりができる。・地域でのネットワークにより、早期のうちに相談・支援につながることができる。	<ul style="list-style-type: none">・年に1回ではなく、必要な人は早めに民生委員に情報を渡す、包括が訪問をする。・健康麻雀のように、楽しく参加できる場の増加。楽しく参加しつつ、介護予防について学べる場があると良い。
情報の周知	<ul style="list-style-type: none">・高齢者が介護予防・通いの場・相談窓口等の、必要とする情報を容易に得ることができる。	<ul style="list-style-type: none">・転入者に地域の情報を渡す。・情報格差に配慮しインターネットだけでなく様々な媒体で周知する。知立団地は言語の問題もある。・もの忘れガイドブック等を配るだけでなく、民生委員や区長・オレンジメイトが内容について説明ができるとよい。